

質疑者 北山 順一 委員

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p>4. 日本一子育てしやすいまち神戸について</p> <p>かねてより市政の最重要、最優先課題として、21世紀の神戸を担っていく子どもたちのために「日本一子育てしやすいまち神戸」を築くべきであると強く申し上げてきた。</p> <p>公共交通機関の運賃に関して伺いたい。中学生になった途端に大人運賃になる。この大人料金になるということが子育て日本一のまちにはふさわしくないとと思われる。</p> <p>子どもはいろんな所からいろんな所へ、塾やスポーツをするということで移動する。長田区の丸山ではバスに乗って長田に出てきて、神社前から地下鉄に乗って、三宮からポートライナーに乗ってポートアイランドのスイミングスクールに通う。長田ですら結構交通費がかかるのであるから、須磨の名谷や、西区、北区などを考えれば、子どもの交通費といえどもずいぶんかかってくる。</p> <p>子どもたちが思う存分に課外活動ができるような支援として、公共交通機関の運賃については、義務教育期間である中学生まで運賃を小学生と同様に大人の半額となるような支援をすべきであると考えている。検討していただきたいがどうか。</p>	<p>今西部長</p>	<p>環境に配慮し、できるだけ公共交通機関を使っただきたいということから、公共交通機関の運賃については、複数の交通機関を利用する場合、それぞれで支払っていただく運賃を少しでも軽減するため、交通事業者が相互に連携して、乗継割引の制度を設けている。</p> <p>神戸電鉄丸山駅から神戸高速線を経由して三宮等へ向かう場合の乗り継ぎや北神急行と地下鉄、地下鉄と市バスの乗り継ぎ等において割引が適用される。さらに交通局が中心となって普及促進に努めているPiTaPaカードを利用すれば、乗継割引に加え、利用頻度に応じて最大10%～15%の割引も受けられることになる。</p> <p>ご指摘の中学生の運賃については、神戸市独自で定めているわけではなく、国土交通省令である鉄道運輸規程によって、全国一律に大人運賃が適用されている。各交通事業者はこの適用される運賃を前提に収支計算をして事業を申請している。仮に神戸市内の約4万人の中学生の運賃を現行の半額とした場合、交通事業者の運賃収入が大体5億円くらい減少し、交通事業者からは影響が大きいと聞いている。</p> <p>今後、少子化が進んでいく中で、若い人たちを呼び込み、まちの活性化をしていくためには、子育てしやすいまちを築いていくことは重要であると考えている。財政状況が厳しい中、子育て支援策については、選択と集中を行いながら、まずは待機児童の解消にむけた施策や、学童保育の充実、乳幼児の医療費助成や幼稚園の就園奨励助成といった少子化対策にもつながる低年齢層を対象とした施策、あるいは経済的支援に重点を置いて実施しているところである。</p> <p>公共交通の運賃については、交通局が地下鉄と市バスで、大人が同伴する小学生以下の子ども2人ま</p>

質疑者 北山 順一 委員

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p>(再質問) 子どもの料金について調べてみたが、全国どこへ行っても、交通機関は中学生は全部大人料金であった。中学生は大人の料金だが、神戸は考えますという意気込みがほしい。全国一律だから、神戸もそれでいいというわけではないと思うがどうか。</p>	<p>今西部長</p>	<p>でが無料となるエコファミリー制度等を実施しており、全国的にも極めて高い評価をいただいております、今年第1回のEST大賞を受賞した。この制度を今年度は、夏休み期間中の全ての平日にも利用できるようこの制度の拡大を行った。</p> <p>中学生に対する運賃支援の提案については、もちろん子育て支援につながるものと考えているが、現在は少子化対策につながる低年齢時に重点をおいた施策を行っており、市の財政状況等を総合的に勘案すると、直ちに取り組むことは難しいのではないかと考えている。</p> <p>今後も交通事業者と連携して、利用者に対して魅力ある対策等を実施できるよう努力してまいりたい。</p> <p>現行の制度でも、市バスの事業において環境定期券制度という制度があり、定期券を持っているローカル路線で、大人のほうが対象になるが、定期券を持っていれば半額になる。例えば近郊区間であれば390円までの区間であれば、同伴の大人が100円になる。こういった制度が少しPR不足かとは思いますが、PRも含めて対策を実施し、市民の方々の公共交通利用の促進をはかってまいりたい。</p> <p>中学生の料金についてだが、先ほどエコファミリー制度を申し上げたが、この制度で小学生以下は、土日休みを含めて実質無料となっている。今でも十分日本一の子育てをしやすい料金体系であり、全国に誇れる料金体系であると思っている。さらにふみ込んでというお話であったが、低年齢層中心に子育て支援策に取り組んでいることもあり、今後の勉強とさせていただきたい。</p>